

2025年度入試 創価大学出題方針

創価大学の入試における出題方針を公開します。

各科目は旧教育課程履修者に可能な限り配慮した出題とします。

なお、旧教育課程履修者のため、以下の科目（数学は一部）については、旧教育課程の問題を選択して解くことも可能です。両方を解答した場合は、高得点の方を合否判定に使用します。選択可能な範囲は以下の表の通りです。この措置は、2025年度入試までとし、2026年度入試以降は、新教育課程から出題します。

科目	旧教育課程
『歴史総合,日本史探究』のうち、 「歴史総合」の問題	『旧日本史 B』
『歴史総合,世界史探究』のうち、 「歴史総合」の問題	『旧世界史 B』
「数学 I,数学 A（図形の性質,場合の数と確率）, 数学 II,数学 B（数列）」※	「旧数学 I、旧数学 II、 旧数学 A、旧数学 B（数列、 ベクトル）」

※旧教育課程履修者への経過措置は、一般入試（2・3科目方式）のみ対応

英語

英語の問題は大学入試センターが運営する大学入学共通テストの問題作成方針に準じて出題します。4技能のうち「読むこと」を中心に評価します。高等学校までに習得した英語力を問う問題を出題します。ただし、一部、文法の知識を問う問題を出す場合があります。

国語

高等学校での学習を前提とした語彙力・読解力・文章力を判定できる問題を基本とします。日本語の文章の論理や論旨、あるいは作者の心情や表現の意図を、的確に理解し、論理的にその理解を表現できることを評価します。

数学

高等学校で修得すべき数学の基礎学力を身につけているかどうかを判定することを目的として行います。一般的な数学教科書内容の基礎的知識に基づく計算力と論理的思考力を問います。

歴史総合，日本史探究

本学入学後に専門教科を理解するために必要な基礎学力と学習能力が備わっているかどうかを判定することを目的として行う試験です。教科書から得られる基礎的な知識や広い視野での総合的な理解力を問う問題、また、教科書等には掲載されていない資料の情報と授業で学んだ知識とを関連付ける問題や、特定のテーマについて時代区分・地域にまたがって考察する問題も出題します。

歴史総合，世界史探究

本学入学後に、専門教科を理解するために必要な基礎学力と、歴史事象を多面的・多角的に、また長期的視野に立って考察できる能力を判定することを目的とする試験です。教科書に記載されている個々の歴史事象に関する知識やその意義・特色、および相互の関連性について、概念的かつ多面的・多角的に理解を問う問題を出題します。また、教科書等には掲載されていない資料の情報と授業で学んだ知識とを関連付ける問題や、特定のテーマについて時代区分・地域にまたがって考察する問題も出題します。

公共，政治・経済

本学入学後に専門教科を理解するために必要な基礎学力と学習能力が備わっているかどうかを判定することを目的として行う試験です。高校の学習指導要領から逸脱しない内容で公共・政治経済の知識・理解力を問います。

物理基礎・物理

本学入学後に専門教科を理解するために必要な基礎学力と学習能力が備わっているかどうかを判定することを目的として行う試験です。知識の確認，物理的思考，計算力を総合的に判断できるように出題します。

化学基礎・化学

本学入学後に専門教科を理解するために必要な基礎学力と学習能力が備わっているかどうかを判定することを目的として行う試験です。化学の基本となる概念や原理・法則を活用する能力を問う問題を出題します。

生物基礎・生物

本学入学後に専門教科を理解するために必要な基礎学力と学習能力が備わっているかどうかを判定することを目的として行います。修得した知識に基づいて、生物や生物現象に関する観察や実験の結果を適切に理解し結論を導く能力を問います。

理科[化学基礎、生物基礎]

本学入学後の看護に関わる専門教科を理解するために必要な基礎学力と学習能力が備わっているかどうかを判定することを目的として行います。出題範囲は「化学基礎」および「生物基礎」の教科書に沿った内容で出題します。